

# \* 研究授業からの学び \*

R4.12.5

No.4

文責 新玉

令和4年 10月5日(水)  
西土佐小学校 第3,4学年 総合的な学習の時間 依光 峰登 教諭  
単元名 「すてき発見!四万十川」全70時間  
小単元2 「四万十川の現状について考えよう」(27時間)

## <単元でつけたい力>

- ・四万十川の良さや特徴に気づき、目的に合った方法で調べ、四万十川に関わる人々の思いや願いを知る。  
【知識及び技能】
- ・四万十川の現状から問いを見出し、その解決に向けて話し合ったり、調べて得た情報を基に考えたりする。  
【思考力、判断力、表現力等】
- ・自分たちが設定した課題の解決に向けて、自分にできることを他者と協働して取り組もうとする。  
【学びに向かう力、人間性等】

## 本時の目標

昔と今の四万十川の様子を比較し、整理・分析することができる。

## 本時の評価規準

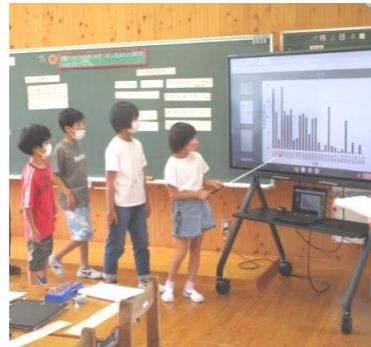
課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。【思】

## 本時の情報活用能力

情報の比較や分類の仕方、観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方法を理解する。

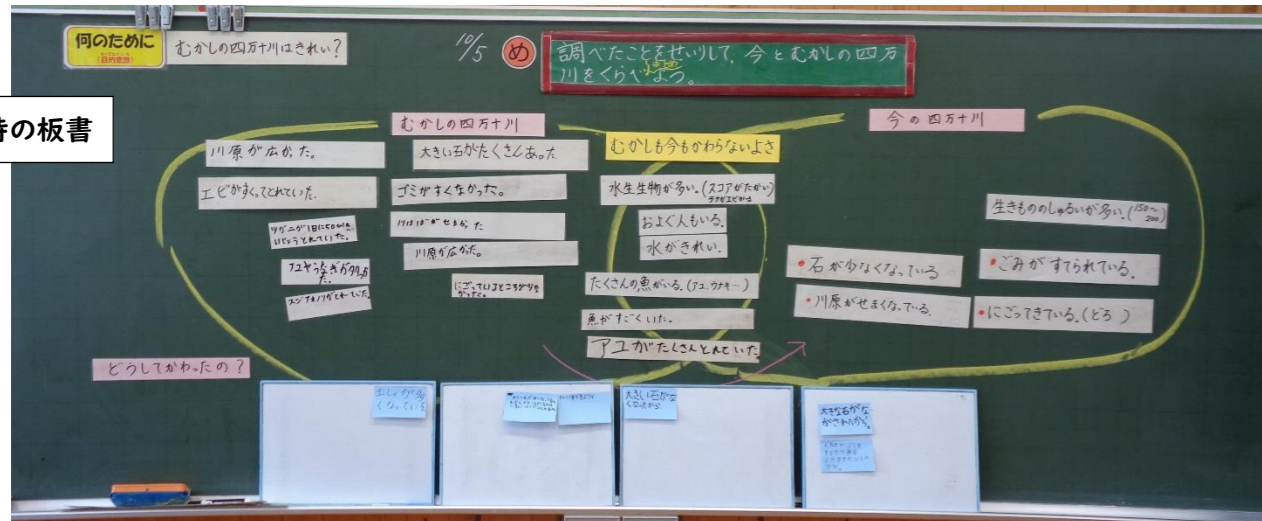
### 本時の授業風景

このグラフを見ると、昔と比べて魚の獲れる量が減ってきていることがわかります。



みんなの資料を見ると、魚がすごく減っているなと思いました。それは、石が減っているからだと思います。ゴミ拾いをしたり魚の棲みかを作ったりして、四万十川にいろいろな魚たちが棲める場所をいっぱい作りたかったです。

### 本時の板書



## 研究協議より(抜粋)

### 授業者より

- 四万十川の環境が悪くなっているという現状を知り、ごみ拾いなど環境保全活動に取り組みたいという振り返りがあったので、今後の取組につなげていきたい。
- 本時の3の活動で、ICTの操作に時間がかかり、発表を始めるまでに時間がかかった。
- 子どもが同じ内容を繰り返し発表する姿が多く見られた。発表の仕方等これから鍛えていきたい。
- 整理のよさ、課題をもう少し明確にしたかった。課題にばかり目が行きがちで、よさまでは注視できていなかった。

### 参観者より

- 小3と小4が楽しく協力して学習に取り組み、積極的に挙手する姿が見られた。
- 子どもたちが比較したり要因を考えたり主体的に考え、理由づけして意見が言えていた。
- ICTを効果的に活用して根拠となる資料を提示することで、全体共有できていた。
- 短冊を使うことで自分たちの考えを主体的に分析やグループ分けできていた。
- 分析では、ダム、石が流れた後のことなど、他教科の学習を関連させて考えていた。
- 同じ意見は発表せず、付箋を貼るようにすることで時間を確保できたのではないかと。
- 「昔の四万十川」がいつのころのことと捉えるのか。
- 今の四万十川は課題が多いことに対して、観光客の人数の資料を提示して子どもの思考を揺さぶることができたのではないかと。

### 指導主事より

- ・6月の活動と比較して考えることができていた。教師が目指す具体的な姿が見えた。
- ・本時の目標、評価規準、資質・能力を意識した授業が大切。
- ・考えるための技法(KJ法・ベン図等)は思考力を育てるために有効で、そのよさを自覚することはできた。しかし、提示するだけで考えることができるのか。更に子ども自身に考えさせるために、整理を子どもにまかせてみてもよかったのではないかと。
- ・集めた情報に対して教師が問いかけることで、子どもは比較するようになる。
- ・複式を生かし、成長に応じて意図をもってグループを決めるとよい。(小3「棒グラフ」小4「折れ線グラフ」等)
- ・複式学級では、これまでに学んだまとめ方や思考ツールを下学年に教え、つなげていけるような指導をするとよい。
- ・スジアオノリは社会に関連、比較は理科でも活用、もっと教科と総合をつなげて価値づけさせる。

### 授業者のリフレクションより

- ・課題をしっかりつかまないと児童は活動できないので、授業の導入で目的をはっきりさせ、児童と確認することが大切である。整理・分析の活動では、思考ツールを使い、できるだけ児童に任せるようにして、情報を整理させるようにさせたい。
- ・振り返りの時間を必ず確保できるように時間設定を行い、本時でわかったことからさらなる疑問や課題へとつなげられる振り返りができるようにしたい。

### ☆これから取り組んでいきたいこと

- \* 導入で目的意識や相手意識を確認する。
- \* 時間短縮のために、意見を精選して発言させる。
- \* 振り返りの時間を確保し、次の課題へとつなげる。